

もっと知りたいジオパーク②

日本の中のジオパーク

日本にはジオパークとして認定されている地域が43地域あります。四国では、高知県室戸市「室戸ユネスコ世界ジオパーク」と愛媛県西予市「四国西予ジオパーク」の2か所がジオパークに認定されています。また、高知県土佐清水市は、日本ジオパーク認定に向けて活発な活動をしています。これらのジオパークおよびジオパークを目指している地域では、大地の成り立ちを含めたさまざまな活動を地域住民・行政・関係

▽室戸岬ジオツアー



△室戸ユネスコ世界ジオパークのジオカレー

機関が協力して行っています。例えば、ジオツアー（ガイドツアー）や特産物を使った商品開発、学校教育（ジオの出前授業、高等学校選択授業科目「ジオパーク学」）などがあります。

日本ジオパークになるためには？

【3段階の審査を経てジオパークへ】

日本ジオパークとして認定されなければ、「ジオパーク」と名乗ることはできません。認定されるためには、日本ジオパーク委員会の審査を受ける必要があります。

審査には、3段階あります。1つ目は書類審査です。2つ目はジオパーク運営団体によるプレゼンテーション審査です。これらに合格した後、最終段階である現地審査があります。この現地審査に合格して初めて三好市が「ジオパーク」と名乗ることができます。

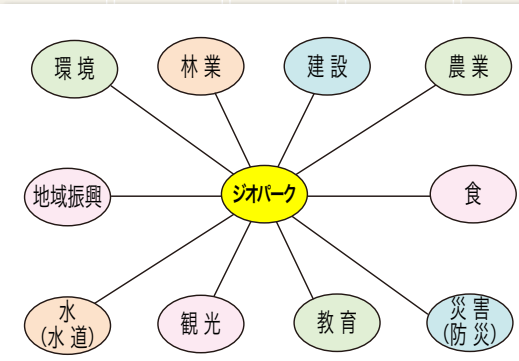
【4年に1度の再審査】

審査が合格し、「ジオパーク」に認定された後も4年に1回審査があります。その理由は、ジオパーク活動が「壊してはいけない大切なものを正しく保全・維持し、長期的地域振興に活用する」考えののっとなっているためです。審査に合格することも大事ですが、一番大事なことはジオパーク活動を絶やささないことです。

今回は「ジオパークとは何か」を知ってもらうために、ジオパークの概念を説明しました。よりジオパークの活動を具体的に知ってもらうために、次号から「ジオパーク」の連載を始めます。

ジオパークをもっと知ってもらったために

「ジオパークとは何か」が重要です。「壊してはいけない大切なものを正しく保全・維持し、長期的地域振興に活用する」ことで、三好市を丸ごと後世に伝える活動となります。そしてジオパーク活動の重要な物となるのが地域の方々なのです。



(図2) ジオパークと他の事業とのつながり

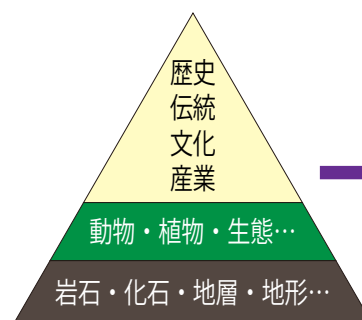
「学校・生涯教育のためのジオパーク」とは、地域の皆さんが地域資源や郷土の良さを発見し、それらのつながりを理解し発信できるような活動を言います。また、大地の成り立ちを踏まえた

活動ですので、防災教育活動としても活用可能です。これらの活動を通して、壊してはいけない大切なものを正しく保全・維持し、地域振興のために活用し続けることで、「後世に残していくためのジオパーク」をつくりあげることができます。

なぜ三好市はジオパークを目指すの？

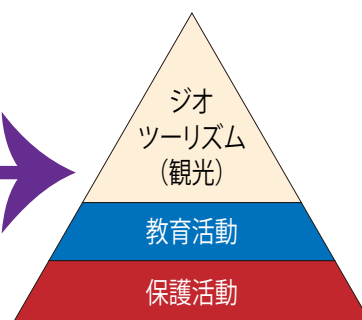
三好市は大歩危・小歩危の景勝地や祖谷地域の急峻な地形があり、そ

ジオパークの対象



(図1) ジオパークの対象と活動

ジオパークの活動



ジオパークの活動は、観光事業や教育活動と関わりがあるだけではありません。三好市には特徴ある「暮らし方」

「ジオパークの活動って？」
ジオパーク活動は、観光事業や教育活動と関わりがあるだけではありません。三好市には特徴ある「暮らし方」

何のためのジオパークなの？

地域の方々、自分の郷土にある地域資源につながりがあることを認識し、誇りを持ち、それを地域内外でアピールしていく、長期的目線を踏まえた地域振興がジオパーク活動です。

もっと知りたいジオパーク①

皆さまの地域におじゃまします「ジオパーク出前講座」始めました

「私たちの暮らしがジオパークとどうつながってるの?」「どんなところがジオパークの見どころなの?」という疑問にお答えします。ジオパーク出前講座や勉強会で、後世に伝えたい郷土の魅力について、一緒に考えてみませんか。申込人数に制限はございませんので、ぜひ文化財課までお問い合わせください。



後世に伝えよう 郷土の魅力 日本ジオパーク 認定に向け始動

三好市教育委員会 文化財課
電話 72-3910

